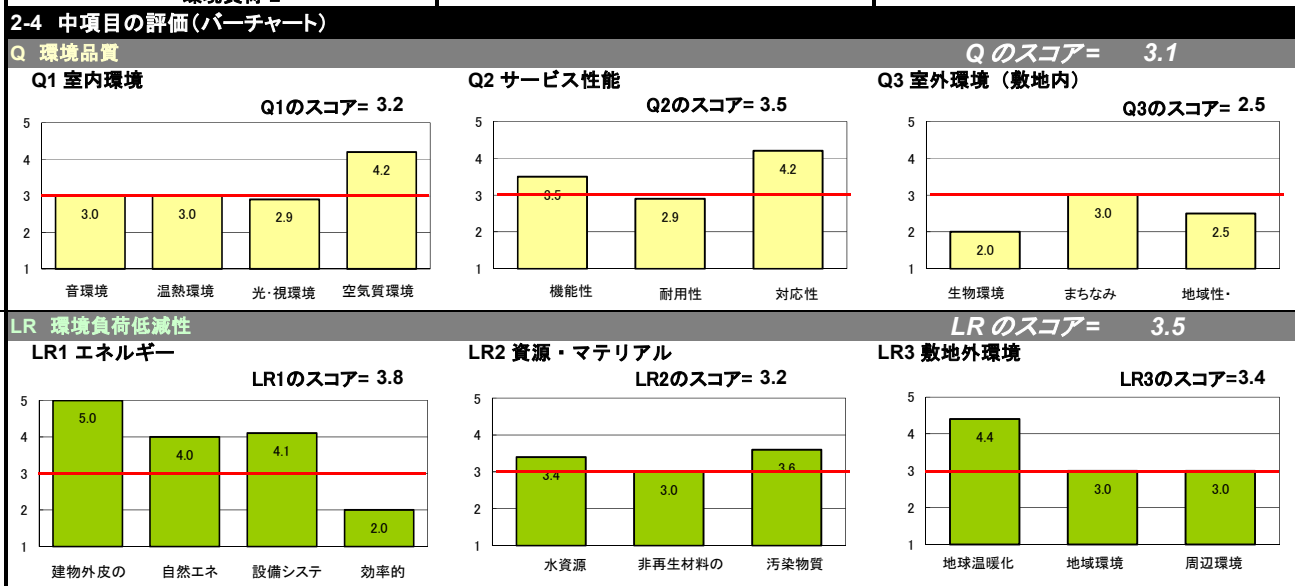
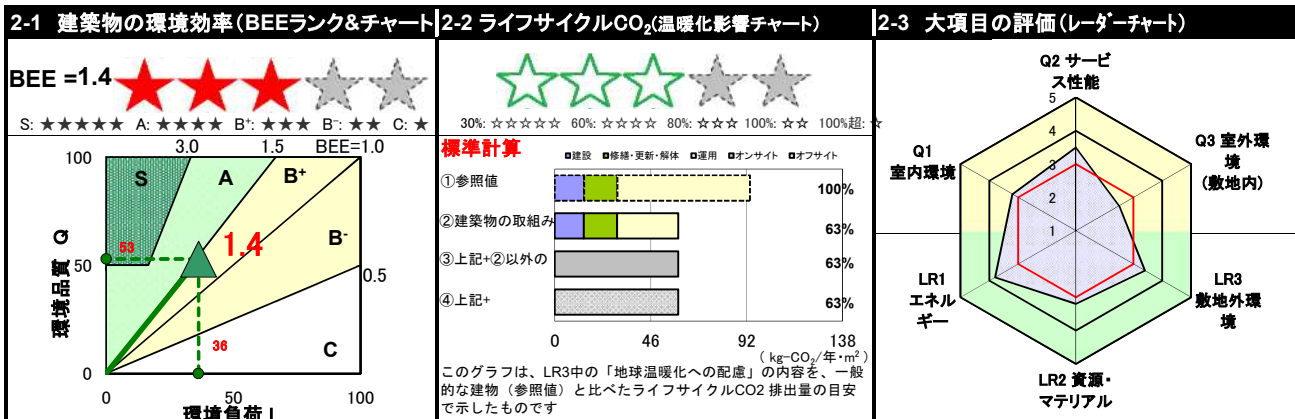


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_速報版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.1)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	オークラ輸送機株式会社R&D棟	階数		
建設地	加古川市野口町古大内字大野394	構造		
用途地域	準工業地域、第1種住居地域、第1種	平均居住人員		
地域区分	6地域	年間使用時間		
建物用途	事務所、工場	評価の段階		
竣工年	2025年10月 0.0	評価の実施日		
敷地面積	30,174 m ²	作成者	池嶋 公子	
建築面積	2,910 m ²	確認日		
延床面積	5,668 m ²	確認者		



3 設計上の配慮事項			その他
総合 敷地内における知的交流の核となる施設であり、湧き立つ創造力を具現化する場としてシンプルに計画した。			0
Q1 室内環境 越屋根からの採光・換気を含めた自然の利用を図ると共に、夏の暑さ・冬の寒さ対策としては遮熱材を採り入れ快適な環境づくりを目指した。	Q2 サービス性能 設備の更新や可変性を考慮すると共に、研究者一人一人にとって余裕のある空間となるよう計画した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内のほぼ中央に計画することから、地域の街並みや景観に与える影響は軽微であるが、潤いの創出に留意する。	
LR1 エネルギー 開口部にはLow-e複層ガラスを採用、また断熱性能の高い外壁材を使用することにより、熱負荷を抑制するよう計画した。	LR2 資源・マテリアル 常時使用する機器(衛生器具・照明器具・空調換気機)の省エネ性能に留意した。	LR3 敷地外環境 シンプルな構造計画とすることにより、最大限資源消費を抑える計画とした。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される